



子どもたちの未来のために動き出そう

山梨県内でのSDGs実現を目指し、県内の企業や経済団体、大学などと山梨日日新聞社、山梨放送は「やまなしSDGsプロジェクト」を進めています。山梨日日新聞の紙面やYBS山梨放送の番組、イベントを通して多彩な情報を発信。森林の持続的な活用を目的としたメインアクション「moritomirai(モリトミライ)」では、具体的な取り組みを展開しています。

2021年7月にスタートし、1年ごとに活動してきた同プロジェクトは第5シーズンが始まっています。今季もSDGsの考え方の普及、浸透に一層努めるとともに、山梨の地域課題である森林の持続可能性に資する活動を行っていきます。

地域課題にアプローチする、メインアクション

| モリトミライ |

moritomirai

全国で9,000人以上が体験!

広がっています



カードゲーム
「moritomirai」
活動報告 (モリトミライ)



楽しみながら森林について考えるオリジナルカードゲームを学校現場や企業研修、イベントなどさまざまな場面で活用していただき、森林へ関心を持ってもらうきっかけづくりをしています。これまでに23都府県で体験会を開催し、延べ9,000人以上がプレーしています。

山梨県内の学校などでも活用いただいています!

カードゲームの
体験動画は
右記の2次元コードから
ご覧ください。



10.31 富士吉田市 吉田小学校6年生93名が体験

柏木 悠さん:

手入れが行き届いている森とそうではない森の違いを知ることができ、とても勉強になった。カードゲームを通じて、森への関心が一気に高まり、森を守ろうという意識が強くなった。各クラスが団結して、ゴールを目指すことができ、とても良い経験になった。



協力:エコチル調査
甲信ユニットセンター

11.4 富士河口湖町 大石小学校5年生、6年生18名が体験

大澤 虎珂さん:

いま問題になっているSDGsの1つである森林について、カードゲームでやるというところがすごいなと思いました。話し合ったり、協力し合ったりして、いい未来にできたので良かったです。森について興味を持ってました。そして森林の大切さがよくわかりました。



協力:富士河口湖町農林課

11.12 甲州市 玉宮小学校6年生、大藤小学校6年生、 塩山北小学校6年生31名が体験

楠 愛結香さん(玉宮小学校):

最初はルールが難しそうで心配だったけれど、やってみると友達と協力してゴールを目指すことができ、とても楽しかったです。3校合同の体験会ででしたが、他の学校の友だちとも仲良く取り組むことができて良かったです。環境にいろいろな課題があることが分かり、解決には他者との関わりや協力が必要だと考えました。

協力:エコチル調査甲信ユニットセンター

11.13 南アルプス市 落合小学校5年生22名が体験



五十嵐 結衣さん:

お金を使って仕事をしてみて、その大変さがよく分かった。森をよくするためには、手入れをしたり、色々な人の協力が必要だと思った。

協力:NNS日本ネットワークサービス

11.19 甲府市 羽黒小学校5年生49名が体験

フィッツバトリック 葉那さん:
森で実際に起こっていることがわかり、それに対し、どうしたらよいのかを楽しく学ぶことができた。協力カードを使ったり、他のチームとお金を分け合ったりして、ゴールが達成できた。また、機会があれば、やりたい。



協力:エコチル調査
甲信ユニットセンター

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)とは?

2015年の国連サミットで採択された国際目標で、「Sustainable(持続可能な)Development(開発)Goals(目標)」の略称です。「誰ひとり取り残さない」を基本理念とし、2030年までに環境破壊や人権侵害をなくし、すべての人が豊かに暮らす世界の実現を目指しています。「Goals」は貧困や飢餓の撲滅、地球環境の保全など17分野にわたり、より具体的な目標として169のターゲットが設けられています。